武士道残酷物語（1963）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 123分
初公開日 1963/04/28

【解説】
南條範夫の『被虐の系譜―武士道残酷物語』を、鈴木尚之と依田義賢が共同で脚色し、今井正が監督した時代劇。君主や国家のために命を投げ出す日本人の精神構造を、江戸時代から現代までの7つのエピソードで描く。すべての主人公を中村錦之助が演じ分けた。
建設会社に勤める飯倉進は、故郷の菩提寺で発見した飯倉家の日記を思い出していた。そこには先祖たちが歩んできた残酷な歴史が克明に記録されていた。藩主の代わりに責任を取り割腹自殺を図った飯倉次郎左右衛門。病気で死亡した藩主の後を追い切腹した飯倉佐治衛門。藩主の側室との仲を疑われ、男根を切り落とされた飯倉久太郎。さらに天明、明治、そして現代と、飯倉家の悲劇は続くのであった。

【クレジット】
監督 今井正
原作 南条範夫
脚本 鈴木尚也
依田義賢
撮影 坪井誠
美術 川島泰三
音楽 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi
出演 中村錦之助
東野英治郎
渡辺美佐子
荒木道子
森雅之
有馬稲子
加藤嘉
木村功
江原真二郎
明石潮
徳大寺伸
片岡栄二郎
北龍二
岸田今日子
山本圭
柳永二郎
佐藤慶
河原崎長一郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

丘さとみ
三田佳子
西村晃
小川虎之助

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.